

管内概況

1 位置・地勢

瀬戸内市は岡山県の南東部(東経134°0'5"・北緯34°39'消防本部基準)に位置し、西に県下三大河川の一つである吉井川をへだてて県都岡山市に隣接し、東・南は瀬戸内海に面しており、北は備前市に接しています。東西20.5km、南北15.5km管内面積は125.46km²です。JR赤穂線が市内を走り、市の中心部を東西に岡山ブルーラインが横断する交通条件を背景に、都市近郊型の良好な住宅環境や企業の立地等により発展しています。

年間降雨量は1,200mm内外という寡雨地帯であり、気温も年平均14.5℃内外で四季を通じて気候の温暖な地域です。瀬戸内海国立公園を形成する海や海岸線をはじめ、緑豊かな丘陵などの自然に恵まれた美しい景観です。古くから開けたまちとして栄え、神社仏閣や古窯跡群、朝鮮通信使関連遺跡や城跡などの史跡、竹久夢二の生家や備前長船刀剣博物館など多彩な歴史・文化資源があり、観光客が多く訪れています。また農業はもちろん、沿岸漁業において特にカキなどの養殖が盛んです。

平成16年11月に合併し、新しく誕生した瀬戸内市は、まちづくりの目標となる将来像を「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」として、市民一人ひとりが美しい海岸線や緑豊かな自然を愛し、ふるさとの歴史・文化に誇りを持ち、新しい夢を育み、生き生きと暮らせる住みよいまちづくりを進めています。



2 管内人口・世帯数・面積

令和8年4月1日現在

人 口	男	17,350 人	合 計
	女	18,378 人	35,728 人
世帯数	16,379 世帯		
面 積	125.46 k m ²		